

子どもの数18万人減

総務省がまとめた4月1日現在の15歳未満の子どもの数は、1747万人(男子896万人、女子851万人)と前年より18万人減り、25年連続の減少となった。総人口に占める割合も13.7%で前年より0.1(ポイント)減り、32年連続の低下で戦後最低を更新した。子どもの割合は沖縄県が最も多く18.4%、秋田県が最も少なく12.0%。(4日)

GWのお出かけ盛況

鉄道・航空各社がゴールデンウィーク中(4月28日~5月7日)の利用状況を発表。JRグループ6社を利用した乗客は、主要49区間の特急・急行で前年より83万人多い約1034万人で9%増。3年連続の増加で、JRは「曜日配列と天候に恵まれた」。日本航空、全日空も好調で、国内線旅客数は両グループとも対前年比103%。国際線も全日空では同121.3%の12万4780人で過去最高となった(8日)。警察庁のまとめたこの期間の全国の主な行楽地の人出は、約6500万人。最多は博多どんたく港まつり(福岡)の約220万人だった。(9日)

中学教科書記述ミス208か所

4月から中学校で使われている9教科134冊の教科書のうち、65冊に計208か所の記述ミスなどがあったことが、文部科学省の調査でわかった。記述ミスは全16社のうち12社の9教科すべてで見つかった。誤記・誤植・脱字が多く、最多は国語で全体の約4分の1。「ひらがな」を「ひらが」としたり、「立方体」を「立方休」としたりしていた。(10日)

トヨタ売上高21兆円

トヨタ自動車の2006年3月期連結決算は売上高が前期比13.4%増の2兆1兆369億円、当期利益も17.2%増の1兆3721億円と大きく伸び、いずれも過去最高を更新した。売上高で米フォード・モーターを超えた。(10日)

人民元1ドル7元台に

中国の外国為替市場の人民元相場は昨年7月の為替制度改革後で初めて1ドル=8元を突破、7元台に入った。(15日)

海外で暮らす日本人100万人超す

外務省の統計によると、海外で暮らす日本人の数が戦後の統計で初めて100万人を超えた。日系企業の進出が著しい中国で急増した。(15日)

学校が楽しくない理由「めんどう」6割

学校が楽しくないという子どものうち、6割が理由として「めんどうくさい」を挙げ、5割が「からだがかたくなる」、3割が「まわりの声がうるさい」と答えたことが、東京都内の約2万2000人の公立小中学生を対象にした都養護教諭研究会の生活調査でわかった。学校が楽しいかという問いに「楽しくない」と答えた中学生は11%の約1300人。(18日)

教員も免許更新制

文部科学相の諮問機関「中央教育審議会」の作業部会は、教員の質向上を目的として、教員免許更新制を導入する案をまとめた。案では、免許の有効期限は10年として、その期限が切れる2年程度の間、最低30時間の講習を義務づける。その際に教員としての適格性や専門性について国が定めた基準に達しているか評価する。(26日)